

平成23年度八重山群島病害虫発生予報第6号(9月予報)

9月の気象予報

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	平均気温	降水量	日照時間
高い(多い)	40	40	20
平年並	40	40	40
低い(少ない)	20	20	40

(平成23年8月26日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

平年値

	平均気温()	最高気温()	最低気温()	降水量(mm)	日照時間(h)
八重山群島(石垣島)	27.9	30.7	25.8	257.7	193.6

(沖縄気象台発表・統計期間1981～2010・資料年数30年)

9月の発生予報および防除上の注意事項

1 水稲(二期作)

移植後のスクミリンゴガイの防除対策

- a 例年、スクミリンゴガイの被害は二期作に多くみられる。
- b 8月下旬の調査の結果、本田や用水路に卵塊及び稚貝がみられた。
- c 卵塊及び貝は見つけ次第捕殺する。なお捕獲するときにはゴム手袋を着用する。
- d 取水口に金網(5mm以下)を設置し、用排水路からの侵入を防ぐ。
- e 本田での食害は移植後2週間頃に集中することから、移植後2～3週間は浅水管理(1cm以内)に努め貝の活動を抑えるとともに、薬剤を施用し被害を抑える。
- f 畦畔および水路周辺の雑草を除去し、産卵場所をつくらない。

2 さとうきび

バッタ類の防除対策

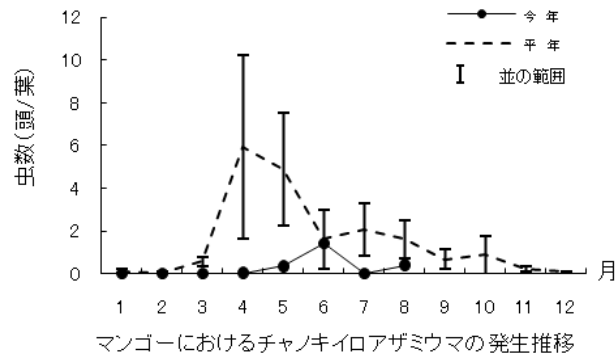
- a 8月中旬の調査の結果、与那国島の一部圃場でバッタ類の多発生がみられた。
- b 圃場及び周辺の除草を徹底する。
- c 発生圃場では早期に薬剤防除を行う。
- d 薬剤散布の際は、近隣作物へのドリフト(飛散)に注意する。

3 マンゴー

(1) チャノキイロアザミウマ

発生程度 : 並

8月中旬の調査の結果、葉当たり虫数は0.4頭(前年0.3頭、平年1.6頭)と平年よりやや少なかった。



< 防除上注意すべき事項 >

- 多発すると防除が困難となるので早期発見・早期防除に努める。
- 灌水を行う際、噴霧器などで本種を洗い流すように散水し、密度低減を図る。
- 発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

枝枯細菌病の防除対策

- 例年、枝枯細菌病は8月後半から発生がみられる。
- 本病は折損等の傷から菌が侵入し発病することから防風対策を図る。
- 罹病した部位は速やかに施設外に持ち出し、焼却等の処分を行う。
- 罹病枝を剪定した後の剪定器具の消毒を徹底する。